

1. 科目名 (単位数)	心理学を活かしたキャリアマネジメント (2 単位)	3. 科目番号	PSMP2102
2. 授業担当教員	近藤 重晴		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	心理学部の学生は、心理学の各分野の理解を深めると共に、社会福祉、精神保健福祉、教育などの心理学近接領域におけるヒューマンサービスの実情を学び、それぞれの現場で心理学の知見を応用していくための基礎的な力を身につけることが期待されている。その背景には、心理学を学ぶ学生が、多様なキャリアを展開させることが想定されている。本科目では、1 年次に開講されている「心理学を活かしたキャリアデザイン」において学んだことを踏まえて、心理学を活かした将来展望やキャリア形成について、より実践的に考える。特に資格取得を想定している場合は、資格を活かして働く自分をイメージし、実現するためには何を成すべきかについて整理する。		
8. 学習目標	1. 心理学の汎用性を活かした多様なキャリアを具体的にイメージできるようになる。 2. 多様なキャリアの中から、自分の強みを生かせるキャリアを探すことができるようになる。 3. 将来、自分が働いている姿について具体的なイメージを形成し、実現していくアクションプランを立てることができるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	・講義前には必ず該当部分に目を通し、疑問点を明確にしてくる。 ・2回レポートを提出する。 1. 心理学を自分の仕事にいかにか活かすか (A4用紙 2枚、2,400字以上)。 自分が将来どのような仕事をするにせよ、例えばカウンセラーであれ、福祉職であれ、会社員であれ、その仕事に心理学をいかにか活かすことができるか考えてほしい。 2. ミニ論文を書く (テーマは自由) (A4用紙 4枚、4,800字以上)。 キャリアマネジメントの効果を上げるためには、論理的な思考力と文章力が大切となる。授業でも「書く能力」を演習的に取り上げるが、さらに長い文章を書く機会としてほしい。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】大久保幸夫著『キャリアデザイン入門 I 基礎力編 第2版』日本経済新聞出版社、2016。 【教材】随時資料を用意し活用する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 授業やレポートを通して以下の4点について、理解を深めたかどうかを評価する。 1. 自分が目指したい業種・職種を明らかにする。 2. 就職活動はどのような手順で進められるのかについて理解できる。 3. 社会人としてのマナーを理解し、実践できるとともに働くために必要な人間関係スキルについて理解し、実践することできる。 4. 働く人のメンタルヘルスについて理解できる ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢 40%、試験及び課題レポート 60%で判断する。		
12. 受講生へのメッセージ	・キャリアマネジメントとは、キャリアデザインで形成した自身の職業の成就や維持・発展をいかにか達成するかということである。本科目を履修することで、キャリアに対する意識を高め、ぜひ、自身の将来のキャリアマネジメントに活かしてほしい。 ・討議を毎回取り入れるので、積極的に発言すること。 ・授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。 ・他の受講生の学習に迷惑をかける行為 (携帯電話の操作、私語、居眠り、グループ活動に協力しない等) をしないこと。		
13. オフィスアワー	原則週に2コマを第1回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	・オリエンテーション ・創造的思考力	事前学習	テキスト pp.15～23 を読んで、キャリアという概念について要点を復習し、疑問点を明確にする。
		事後学習	創造的思考力についてさらに調べて理解を深める。
第2回	・すべての仕事に共通する力 ・基礎力 ・IQg ・コンピテンシー ・EQ ・人間力	事前学習	テキスト pp.103～110 を読んで、基礎力について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	IQg、コンピテンシー、EQ、人間力のうち興味をもったものについてさらに調べて理解を深める。
第3回	・対人能力 ・親和力 ・協働力 ・統率力	事前学習	テキスト pp.110～127 を読んで、対人能力について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	認知的不協和理論についてさらに調べて理解を深める。
第4回	・対自己能力 ・感情抑制力 ・自信創出力 ・行動持続力	事前学習	テキスト pp.127～142 を読んで、対自己能力について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	ストレスについてさらに調べて理解を深める。

第 5 回	・心理学部の学生が身につける力 ・自己分析力 ・ストレスコーピング	事前学習	心理学部の学生が身につける力にはどのようなものがあるかについて調べておく。
		事後学習	ストレスコーピングについてさらに調べて理解を深める。
第 6 回	・メンタルヘルス	事前学習	心の病気にどのようなものがあるか調べておく。
		事後学習	心の病気への対応にはどのようなものがあるか調べて理解を深める。
第 7 回	・情報収集力 ・情報分析力	事前学習	情報収集力・分析力とはどのようなものがあるか調べておく。
		事後学習	自分が興味あるテーマについて、実際に CiNii を使って調べてみる。
第 8 回	・プレゼンテーション力	事前学習	事前に配布された資料を基にプレゼンテーションの資料を作成する。
		事後学習	他者のプレゼンテーションと自分のものを比較検討し、自分のプレゼンテーションを改善する。
第 9 回	・論理的思考力 ・論理的文章力	事前学習	論理的思考について調べて、疑問点を明確にする。
		事後学習	講義内で作成した小論文とは別に、別テーマでもう一本書いてみる。
第 10 回	・先人に学ぶ	事前学習	生き方に共鳴できる人物を調べておく。
		事後学習	授業で学んだ先人と自分が調べて人物を比較して理解を深める。
第 11 回	・対課題能力 ・課題発見力 ・計画立案力 ・実践力	事前学習	テキスト pp.142～155 を読んで、対課題能力について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	インタビューの方法についてさらに調べて理解を深める。
第 12 回	・処理力 ・思考力	事前学習	テキスト pp.155～161 を読んで、処理力・思考力について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	ブレーンストーミング・KJ 法についてさらに調べて理解を深める。
第 13 回	・仕事に向かう態度 ・ビジネスマナー	事前学習	テキスト pp.161～164 を読んで、仕事に向かう態度について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	ビジネスマナーについてさらに調べて理解を深める。
第 14 回	・職業興味検査	事前学習	これまでの講義内容も踏まえて自分が就きたい仕事について考えておく。
		事後学習	職業興味検査の結果を踏まえて自分に相応しい仕事をさらに考える。
第 15 回	・まとめ	事前学習	これまでの講義をふり返って自分のキャリアマネジメント力について疑問点を明確にしておく。
		事後学習	まとめの資料をもう一度読んで復習をしておく。